

夢二が描く
フアッション

大正

フアッション



大和撫子からモダンガールまで

2017年

4月1日 土 ー 6月25日 日

①よき朝 大正4年 ②占昭和2年 ③小春日 時期不詳 ④湖畔の秋 昭和2年 ⑤マンドリース 大正15年

担当学芸員による
ギャラリートーク
4/9(日)5/14(日)
6/11(日)
午後2時ヨリ



竹

久夢二が活躍した大正時代
(1912-1926)の女性ファッションに注目すると、日常着は伝統的な和服で、同時代の終わりから徐々に洋服が着用されるようになりまし。西洋文化の影響は衣服よりも髪型・小物・アクセサリーに早く現れ、それらを活かしながら女性は和洋折衷の装いに身を包みました。

このような時代において、夢二が描き表した和・洋のファッションに、当時の女性は憧れを抱きました。加えて姿形を美しく見せる夢二流の着こなし・しぐさも、世の女性たちの心を動かし、その影響は計り知れないものでした。

本展では100年前に夢二が描いたファッションを紹介し、現代においても共感できる、大正のカワイイとおしゃれを考察していきます。

大正昭和初期の和・洋服も展示します
協力：大野Gin(Gonbaron) 浅井カヨ(日本モダンガール協会)

休館日 月曜日 ただし5/1月は臨時開館
開館時間 午前10時〜午後5時 入館は午後4時30分まで
入館料 一般900円/大・高生800円/中・小生400円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
TEL 03(5689)0462
<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

